

第3学年2組 道徳科学習指導案

学校名： 飯塚市立飯塚第一中学校

授業者： 山本 芳恵

1. 題材名「卒業文集最後の二行」 C 公正 公平 社会正義

2. 授業のねらい

本資料では、深く考えずにいじめをしてしまったこと、さらに正直に自分の過ちに対して謝罪することができなかった小学校時代と、30年あまり過ぎた今でも自分の過去を後悔して過ごしてきた自分を責めるものである。本時では、いじめや差別、偏見がいかに人を深く傷つけるか、そして、いじめを止められないことがいかに後悔につながるかを考えさせたい。さらに、「いじめの加害者になる可能性があるのか」の課題を考えることで、自分の良心に問いかけ、不正やいじめをしない、許さないという気持ちを強くもつことや、被害者に謝ったり、他者のいじめを止めたりするなど、勇気をもって正しい行動をとろうとする態度を育てたい。

3. 単元計画

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	本文を読んで内容を確認する。 いじめに関するアンケートを取る。	自分の体験も踏まえ、筆者の気持ちやT子の状況を理解する。 アンケートで自分の過去の経験を振り返る。
本時	いじめを生まないためにどんな気持ちや考えをもつことが大切かを考える。	協調学習を通して、いじめや差別のない社会にするために何が大切なのか自分の考えをもつ。
このあと	自分が人をいじめない発言や行動を行い、人を思いやる気持ちをもつ。	自分だけでなく、まわりで不合理なことが起こったときに止める勇気を持ち、実行する。

4. 上記の一連の学習で目指すゴール

今までの生活の中で、友だちとのたわいもない会話や活動の中で、友だちを傷つけたことがあるのではないかと思う。その自分の姿と作者を重ね合わせ、自分が今後の生活の中で、まずは、「いじめの加害者になる可能性があるのか」という課題に対して自分の答えを出すことによって、自分のいじめに対する思いに向き合わせたい。さらに、自分が加害者にならないためにどうしたらよいかを深く考えさせ、いじめや差別に立ち向かう勇気と正義感をもってこれからの生活において、友だちに対する言動を改め、「おかしい」と思ったことに対して立ち向かっていく行動力を身につけさせていきたい。

5. 児童生徒の既有知識、学習の予想

1学期に「固定観念」についての学習を行った。固定観念をもつことは悪いことではないが、固定観念から偏見へ、そして、差別につながっていくことを学んだ。そのために相手のことを正しく知り、認めていくことが大切であるということも学んだ。いじめや差別は、本人の責任ではないことで、人を傷つけ、苦しめてしまう卑劣な行為であること、一人ではできないが、集団になると思いもよらない発言や行動を起こしてしまう怖さ、自分が失敗したときには謝ったり、仲間に対して注意したりする勇気をもつことの大切さに気づかせたい。

6. 期待する解の要素（本時の最後に生徒が上記の課題に答えるとき、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別は絶対に許されない行為である。 ・人に流されることなく、自分の意志で行動し、正しいことは正しいと言える勇気をもつ。 ・違いを認め、相手のことを正しく理解することが大切である。 <p>〈評価規準〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加害者の作文を読むことにより、自分の心と向き合い、いじめや差別をしないために、何が大切かを考えることができた。 ○いじめや差別を自分がしないことはもちろん、社会の中で不合理な出来事をなくしていくために自分がどのように行動するかを考えることができた。

7. 学習のデザイン

時間	学習活動	留意点等
8分	1 事前のアンケートの結果を確認する。 2 1で出された意見と関連づけながら、学習の課題を確認する。	○事前にとったアンケートを提示し、課題への方向づけをする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><課題> これからの人生で、自分が「いじめの加害者」になる可能性があると思うか？</p> </div>	
10分	3 資料の内容を確認する。 4 本時の課題について自分の考えをまとめる。 5 エキスパート活動を行う。 ・エキスパートA <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T子の答案用紙を見てカンニングをした時、作者は、「さすがの私も中傷に加われない」と思ったのに、なぜ、T子をいじめる方向へいったのかを考えよう。</p> </div> ・エキスパートB <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T子さんが泣き叫んだ姿を見て、土下座して謝りたいと思ったのに、作者は瞬時にさらにひどいことを言ったのはなぜかを考えよう。</p> </div> ・エキスパートC <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作者は、この作品を通じ、自分の過去をさらけ出し、自分の後悔を綴った作者についてどう思うか？</p> </div>	○絵やせりふ等を使い、視覚的に資料の内容を整理させる。 ○発問に対する自分たちの考えをまとめ、より深く課題を追求するために、数直線を用い、自分たちの考えをまとめさせる。 ○作者の言動のおかしさと人間の心の弱さや仲間の影響力に気づかせる。 ○思っても行動できない、勇気のなさ、自分をかばうために嘘をついてしまう弱さを感じ取らせる。 ○卒業後何年も経ち、苦しみ大人になった作者の姿から、自分の非を認め、公にしていた勇気や人としての成長に気づかせる。

12分	6 ジグソー活動を行う。 ○「作者はよい人間か、普通の人間か、悪い人間か」について、根拠をもとに話し合う。	○人間がもっている弱さ、集団の中の自分、思いと行動のアンバランスなどから作者のことを深く考えてまとめさせる。その際、班で意見をまとめ発表できるように準備させる。
10分	7 クロストーク活動を行う。 ○各ジグソーグループで出た意見を発表し、全体で共有し意見交換を行う。	○各グループの意見を聞き、自分の考えと比較させる。反対意見があれば、発表させる。
10分	8 個に戻って、本時の課題について再度考えをまとめる。 9 いじめや差別に対する担任の思いを聞く。	○活動を通して深めた自分の考えや得た考え方をもとに自分の考えをまとめさせる。その際、「いじめの加害者にならないためには何が大切か」という補助質問をし、作者の言動と今の自分と重ね合わせながら考えさせる。 ○本時の学習を振り返り、今後自分がどのように行動していくかについて考えさせる。

8. 各エキスパート・ジグソー＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパート・ジグソーで押さえないポイント、そのために扱う内容・活動＞

<p>○エキスパート活動A：</p> <p>『T子の答案用紙を見てカンニングをした時、筆者は、「さすがの私も中傷に加われない」と思ったのに、なぜ、T子が悲しむいじめめる方向へいったのかを考えよう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りがT子を責めているのを聞いているうちに、一緒になって責めてもいいと思った。 ・作者の答案をカンニングしたのに、作者が責めないと「おかしい」と思った <p>○エキスパート活動B：</p> <p>『T子さんが泣き叫んだ姿を見て、土下座して謝りたいと思ったのに、作者は瞬時にさらにひどいことを言ったのはなぜかを考えよう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の罪を隠す気持ちで真逆のことを言った。 ・「T子はカンニングをしていないのでは・・・」となるのが怖かったから言った。 ・だまりこんだ悪童どもがこれ以上、このことに触れないために言った。 <p>○エキスパート活動C：</p> <p>『作者は、この作品を通じ、自分の過去をさらけ出し、自分の後悔を綴っていることをどう思うかを考えよう。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がT子をいじめた過去を素直に書けるのはすごいと思う。私にはできない。 ・自分の過ちを堂々と書いてすごいと思うけど、人を傷つけた過去は消えない。 ・こうやって書くなら、まず、Tさんに会って、謝れば良いと思う。

9. ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容

<p>○自分がいじめの加害者にならないために、どんな気持ちや考えをもつことが大切かを考え、自分にできることを日々の生活で実行していく。</p> <p>○いじめや差別が起こらない社会にしてくために、人に対しての偏見をもたず、人を傷つけている場面では、止める勇気と正義感をもって行動していく。</p>
--

10. グループの人数や組み方

エキスパートグループ	3人×10グループ	4人×2グループ
ジグソーグループ	3人×10グループ	4人×2グループ

